

ヘリグロチャバナセセリ チョウ目セセリチョウ科

Thymelicus sylvaticus sylvaticus (Bremer)

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

分布は局地的で生息地が限定されている。

形態

開張30mm程の小型種。翅の地色は、表裏ともに赤橙色で、近似種のスジグロチャバナセセリは、石川県では観察されていない。

国内分布

北海道から九州にかけて離散的に分布し、関東地方、中部地方、中国地方に生息地が多いが、全国で減少している。

県内分布

白山市の旧吉野谷村、旧尾口村、旧白峰村の手取川右岸で観察されている。

生態

7月下旬から8月にかけて年1回発生し溪流沿いの草地を敏速に飛翔し、オカトラノオなどの花を訪れる。幼虫は露岩地に生えるヒゲノガリヤスから観察され、5月から6月には葉を筒状に丸めた巣が観察できる。

生息地の条件

ヒゲノガリヤスが生える露岩地が生息場所になっている。

生存の危機

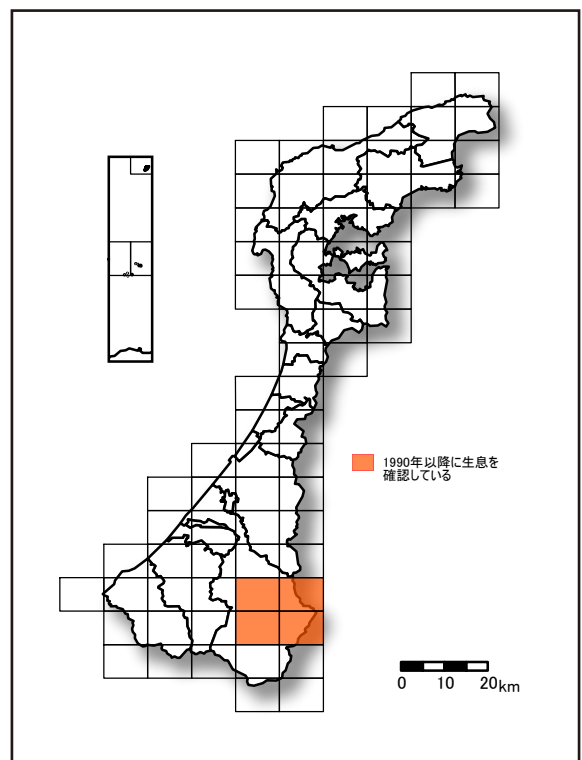
道路改良などによって露岩地がコンクリート化されると発生地が消失する。(A)

参考文献

福田晴夫ほか 1984. ヘリグロチャバナセセリ. 原色日本蝶類生態図鑑 (IV) : 234-236. 保育社. 大阪.



写真提供者: 竹谷宏二



県内の分布